

3年ぶりの集い Photo



●幹事長だより

令和4年6月25日に3年ぶりの集いを銀座で開催しました。しばらくぶりに見る元気な顔・顔、懐かしさもあり大変楽しい「つどい」となりました。インバウンドも徐々に多くなり少しづつ賑わいが戻ってきてているようです。令和5年からは通常通り東京同窓会を開催していきます。どんどん参加してください。また令和5年は秋田高校創立150周年となります。東京同窓会でも6月の総会を祝賀会として盛大に開催します。ご期待ください。

(昭和47年卒 鎌田進 2022.11.13記)



2022年12月 秋田高校東京同窓会

〒106-0032 東京都港区六本木 5-16-5
インペリアル六本木 1001 鎌田会計事務所内
TEL 03-5545-7775 FAX 03-5545-0087
Mail shuko-ob-jimukyoku@shuko-ob.net
http://www.shuko-ob.sakura.ne.jp

秋田高校東京同窓会 新春賀詞交歓会 令和5年1月28日(土) 16:30~

皆様、いかがお過ごしでしょうか?コロナ感染も丸3年になりました。5回目のワクチン接種が終わっている人も多くなりつつあるようです。世界的には段々コロナ明けが浸透してきているよう、韓国ではハロインナイトに多くの人が集まり過ぎ、痛ましい事故が起きました。今年も色々なことがありました。振り返ってみると世界的にちょっとどうなっていくのだろうかと思われることが多いです。不透明な時代になって来ている感じがします。そんな中でも、年末となり正月が来て新しい1年の始まりが来ます。東京同窓会ではコロナ前のように皆さんに集まって頂き楽しい賀詞交歓会を開きます。今回の講師は弁護士の木村佐知子さんです。若くして頑張っている姿に感銘いたします。講演を楽しみにしましょう。また久しくお会いしていない方々に再びお会いできるのを楽しみましょう。多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

開催要項

- 開催日 令和5年1月28日(土) 16:30~
 - 会 場 アルカディア市ヶ谷(私学会館)
 - 受 付 16:30~
 - 講 演(木村佐知子氏) 17:00~17:50
 - 賀詞交歓会 18:00~20:00
- ◆ 当日会費・8,500円
※ 振込用紙にての前振込の場合は8,000円です。



東京都千代田区九段北4-2-25 TEL 03-3261-9921

<講演者紹介>



木村 佐知子 秋高H16年卒業

2004年本学卒。東京大学法学部、中央大学法科大学院を経て司法試験合格(2013年)。弁護士として東京都内の中堅法律事務所に勤務、2023年2月に独立開業予定。離婚、相続、不動産等の一般民事・家事事件をはじめ上場企業からスタートアップまで幅広い企業の顧問業務を行う。2023年4月の統一地方選挙を目標に、日本維新の会・台東区区政対策委員に就任

講演の演題

令和5年版「汝 何のためにそこにあり哉」



3年ぶりの集い 令和4年6月25日(土)午前11時~

会場/RESTAURANT for ETERNITY
寄稿「令和4年 3年ぶりの集い」に寄せて

同窓会初めての出席～五十年の時を越えて

昭和47年卒 佐藤 勝美

会社を完全にリタイアして四年目、さいたま市の県人会メンバーである昭和四十九年卒の後輩から、秋高東京同窓会の存在を知りました。在職中は、同窓会は何か敷居が高い印象で、また、仕事上で転勤もあり、同窓会には一度も出席したことはありませんでした。

今年は、秋高を卒業して五十年、今回は出席してみたいという気持ちになり、幹事長の鎌田さんが同じ昭和四十七年卒ということで、早速連絡を取って同窓会入会と総会出席の手続きをしていただきました。

当日会場で出席者名簿を見て、同期の昭和四十七年卒の方が六名もあり、ますます楽しみなりました。まずは、橋本五郎会長のあいさつ。テレビでの顔しか知りませんでしたが、あいさつでのにこやかな表情、ゆっくりした印象、落ち着いた橋本会長を見ても、これが同窓会の安心感、連帯感なんだなと強く感じました。

乾杯の後、同期の高木さん、本間さん、中谷さん、工藤さんそして鎌田さんも近くの席に座って話し始めた途端、一気に距離はなくなり、私にとってまさに五十年の時を越えた瞬間でした。みなさんの現職のこと、先生の話、部活の話、太平登山に行ったとか行かなかったとかなどなど、とても楽しい時間でした。

出席された皆さんも、懐かしそうに楽しそうに話して、飲んで食べて、3時間余りの時間は瞬く間に過ぎていき、最後は校歌。還暦祝いの時以来10年振りの「天上はるかに太平山の・・・」。覚えています見なくとも。

同窓会。とても楽しく、有意義でした。これからも続けて出席します。

昭和59年卒 原田 龍美

梅雨明け間際の猛暑日だった6月25日、初めて、東京同窓会の総会及び懇親会に参加させていただきました。普段からお世話になっている幹事の鎌田進先生からご紹介していただいたので、コロナ禍にあって3年ぶりの開催とのことでしたので、巷間行われているようなコロナ対策を過剰に意識した静かな雰囲気での会合のイメージでしたが、予想に反して、意気軒昂な諸先輩方のパワーに圧倒される時間となりました。

個人的には、3年生のときの同級生にお会いでき、また、同じテーブルを囲んだ楽しい先輩、後輩の方々とグループLINEで繋がることができるなどといった思いがけない幸運にも恵まれました。

男鹿市出身の私は、秋田高校を卒業して以降、同級会や同窓会の類にはほとんど参加せず、実家の父が他界した平成22年以降は、秋田に帰ることも少なくなっていました。そんな私でも、一方で諸先輩方の諸方面でのご活躍を目の当たりにし、他方で、平成ないし令和卒の後輩の方々の頼もしくもある生き生きとした姿を拝見するにつれ、改めてそうした同窓生の一員であることを強く意識し、誇りに思いました。

会場では、秋田での様々な取り組みやイベントも紹介されておりまして、私のように東京同窓会の存在を知らなかつた方々にも是非知って貰いたいと思いましたし、私自身も、引き続き参加させて頂きたいと思った次第です。

平成4年卒 横井川 奈緒

コロナ禍で開催できない状況が続いていた、秋田高校の東京同窓会が3年ぶりに開催されました。久しぶりの開催だったので、皆さんにお会いできるのを楽しみにしておりました。と、同時に覚えていてくださっているかな?とも思いながら、ドキドキして参加いたしました。

会場に入ると、いつも参加されている皆様が三年ぶりとは思えないくらいお変わりなく、うれしい気持ちになりました。

皆さま本当に若い!です。

初めてお会いする方も多かったのですが「秋高の同窓生」という共通点があったので、あっという間に打ち解けて、とても楽しい時間を過ごすことができました。

二次会のカラオケでは、会長の橋本五郎先輩の美声も堪能いたしました。本当に上手でした♪

特にコロナ禍になって、人の出会いの大切さを痛感しております。

このタイミングで、普段中々お会いすることができない皆さまとお会いできたことに感謝いたします。

またの機会を楽しみしております。



秋田高校東京同窓会 初参加

平成18年卒 三浦 雄平

初めまして、先日3年ぶりに開催された秋田高校東京同窓会へ初参加させて頂いた平成18年卒の三浦雄平と申します。私は、今年の転勤をきっかけに偶々、銭谷真美 先輩に教えて頂き、東京同窓会の存在を知ることができます。

同年代の参加者は少なく、大先輩達が多いため最初は少し緊張しましたが、同じ同郷かつ同じ高校ということもあり、すぐ馴染むことができました。特に秋田高校の「自主自律」の象徴(勝手に私が思っているだけかもしれません)である1971年の服装自由化に対する当時の話等、大変勉強になりました。

また、この会を通して、あらゆる分野で活躍されている(していた)人生経験豊かな先輩方と繋がりができました。普段であれば、年齢・職業ともに交わることがないため、この会に参加できたことを大変嬉しく思っています。

話は変わりますが、東京同窓会の活動で就職相談会等を実施していることを聞きました。現役学生にとって、同じ秋田高校のOBの方々との繋がりを持つことは、今後の就職活動や人生設計に大きなプラスになると思います。私も当時知っていたら、もっと視野が広がっていたのではないかと後悔しています。

このような有意義な活動をしている東京同窓会ですが、同年代での知名度は低く、同会の今後ますますの発展のためにも、布教活動をしながら今後も秋田高校というすばらしい繋がりを大切にしていきたいと思います。

令和3年卒 熊谷 尊登

令和3年卒の熊谷尊登です。慶應義塾大学に通っております。

秋田高校東京同窓会には、今回初めて参加しました。大学生の参加者が他にいないということもあり緊張しながら会場に向かいましたが、皆さんが気さくに話しかけてください、すぐに打ち解けることができました。秋田高校の近況をお話ししたり、当時の様子を伺ったりして、楽しい時間を過ごすことができました。

また、橋本五郎東京同窓会会长や銭谷真美秋田高校同窓会会长をはじめとする、先輩方から貴重なお話を聞きることができ、大いに刺激を受けました。また、お話しした方々のキャリアが政界・経済界など非常に多様であり、秋田高校のネットワークの広さを実感いたしました。来年には就職活動を始めねばならないため、この時期に各界で活躍する先輩方のお話を伺うことができ、ありがとうございました。

高校時代の友人に久しぶりに会ったという方のみならず、同じ年だが同窓会で初めて仲良くなったという方もいらっしゃったのが印象的でした。人と人を繋ぐ場として、同窓会の貴重さを感じることができ、来年以降も参加したいと思いました。

貴重な機会をいただき、ありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願いします。